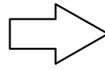


街なみ環境整備事業の活用事例

新飯田地区(新潟県新潟市南区)

当地区は新潟市の南部に位置し、中ノ口川と信濃川の分岐点にあり古くから河川交通の要所として栄えた地区である。県道に沿って商店街が連なり、住宅と商店が混在した街並みを形成している。観光面では、新飯田まつりや良寛との交友のあった円通庵(えんつうあん)の僧「有願(うがん)」が有名である。

古くからの街区であり、地区内の道路幅員は総じて狭く、また公園等の公共空地がないため、通路の整備による安全で快適な歩行空間の確保、地域の憩いの場となる小公園の整備などを行い、景観形成及び住環境の整備改善を図る。



小公園整備前後

海岸地区(新潟県出雲崎町)



当地区は江戸時代に“天領”の地として栄華を誇り、狭い土地で効率良く居住できる「妻入り」と呼ばれる住宅が建築され約800戸、3.6kmの街なみを形成している。また、良寛、芭蕉などの所縁の地として町の観光の中心地としている。

街なみ環境整備事業において、降雨災害に対応できる排水路の整備や景観整備のための道路の美装化、住宅の修景施設の整備などを行い、景観形成及び住環境の整備改善を図る。

整備地区



道路美装化整備状況

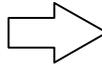
宇出津西海岸地区(石川県能登町)

当地区は宇出津港西側に位置し、古くから漁師町の住宅地として発展し、大変景観の良い街なみを残している反面、住宅密集による防災面の不安や道路・排水路といった地区施設の老朽化、また、公園や集会所といった交流場所の不足といった課題がある。

街なみ環境整備事業において、課題を解消するために、「安心して快適」なまちづくりを目標として、道路の美装化による景観整備や保存、道路や排水路の整備による生活環境の向上、防火水槽などを整備し防災面の強化、公園や集会所を整備し地区住民の憩いの場の提供を図ったものである。



公園整備状況



小公園及び防災施設の整備前後